

おおふか ごりんとう
大深の五輪塔



△第2塔（北側）

△第1塔（南側）

この五輪塔は、飯山市域では最大の五輪塔で、北信地域でも有数の大きさである。

特色としては、第1塔は水輪部が大きく、火輪部の横幅・地輪部の正面幅をはみ出している。空輪・風輪部も火輪部と比較して大きめである。第2塔は水輪部と火輪部の横幅は同じであり、水輪部が地輪部の正面幅より大きい。これが現状からの特色である。

伝承ではこの五輪塔は、城氏と木曾義仲の戦闘で討ち死にした武将の墓であるとされており、この地域が中世の歴史に関わる地であったと考えられる。飯山市域の中世の歴史を解明する上でも、この五輪塔は大事な作例である。